

2012年12月6日

各 位



東日本大震災被災地でのボランティア活動を通して

積水化成成品工業株式会社(本社：大阪市北区西天満 2-4-4、社長：小野恵造)では、グループ全社を挙げて、被災地復興に対するボランティア活動を推進しています。宮城県南三陸町で、本年6月のグループ員有志によるボランティア活動に引き続き、9月、11月と3回の活動を実施し、延べ120名の当社グループ員が参加しました。南三陸町でのボランティア活動はすべて瓦礫撤去作業にあたりました。現地のような沿岸部では瓦礫が残り、住宅地や商店街の建設が遅れ、被災地の方々が以前のよ様な穏やかな暮らしを取り戻すには、まだまだ時間がかかる状況です。

東日本大震災からすでに1年8カ月余りが経過しました。当社グループでのボランティア活動も3回目となりましたが、震災発生1年を境にボランティアの数は激減しており、貴重な体験となりました。被災地では生活環境や地元経済の復興がまだまだ進んでいないため、沿岸部の若者を中心に人口減少が続いているという現実を目の当たりにしました。また、瓦礫撤去がある程度進んでいる市街地とは違って、小さな集落や陸地から近づけない入り江などは、NPO法人などの小規模なボランティアでしか対応しておらず、ほとんど手がつけられていないのが現状だということも知らされました。

このような状況の中、被災地の方々から、「ひとりでも多くの方に被災地を訪れてもらい、自分の目で被災地の状況を見ることで、今回の大震災から学ぶべきことについて考えるきっかけとしてほしい」、「テレビ等のマスコミ報道では伝わらない、現地の状況や感じたことを是非、皆さんから身近な人に発信してほしい」と切に訴えられました。

当社グループとしても、従前より支援の一環として、救援物資の寄贈や義援金の寄付をはじめ、年間を通じたボランティア活動を行ってまいりましたが、今後は、被災地のニーズに即した活動を検討し、実施してまいります。

厳しい経営環境ではありますが、各種報道では伝わらない現地の状況をこれからも発信し続けることで被災地の一日も早い復興の一助となるよう、引き続き活動してまいります。



以上

<お問合せ先>

積水化成成品工業株式会社 東京総務グループ(広報)

TEL : 03-3347-9615 E-mail : m01271@sekisuiplastics.co.jp